

## 第5章 - ボウリング

スペシャルオリンピックスのボウリング競技は、全てスペシャルオリンピックス公式スポーツルールに従う。国際的なスポーツプログラムとして、スペシャルオリンピックス（SO）は、国際柱技者連盟（FIQ）及び、世界テンピンボウリング協会（WTBA）のボウリング規則を基にこれらのルールを定めた。全米ボウリング協会（ABC）あるいは国際婦人ボウリング協会（WIBC）または、ヤング・アメリカン・ボウリング・アライアンス（YABA）の規則がスペシャルオリンピックス公式スポーツルールに矛盾することがない限り採用される。矛盾が生じた場合には、スペシャルオリンピックス公式スポーツルールが優先される。2005年1月1日よりWIBC、ABC、YABAはUnited States Bowling Congress（USBC）に統合される。

### セクションA 公式種目

- 1．個人
    - a．シングルス
    - b．補助スロープアシストなしボウリング
    - c．補助スロープアシストボウリング
  - 2．ダブルス
    - a．男子
    - b．女子
    - c．混合
    - d．ユニファイドスポーツ®男子
    - e．ユニファイドスポーツ®女子
    - f．ユニファイドスポーツ®混合
  - 3．チームボウリング
    - a．男子
    - b．女子
    - c．混合
    - d．ユニファイドスポーツ®男子
    - e．ユニファイドスポーツ®女子
    - f．ユニファイドスポーツ®混合
- 以下は、初級レベルのアスリートに有効な種目である。
- 4．ターゲットボウリング
  - 5．フレームボウリング

## セクションB 競技ルール

### 1 変更ルール

- a. 補助スロープおよび他の補助装置は、スペシャルオリンピックスボウリング競技委員会の承認があれば使用できるものとする。
- b. 補助スロープを使用する選手は、シングルス試合の時のみ、他の選手と別のクラスを設けることができる。補助スロープボウリング部門においては、選手は2種類の競技に参加することが出来る。

#### 1) 補助スロープアシストなしボウリング

##### a) ルール

- i. 選手はアシストなしで補助スロープを目的の位置に置く。
- ii. 選手は補助を受けてスロープにボールを置き、目的に向けてボールを斜面に押し出す。

- b) 選手は、連続して3フレームまでボールを投げる事が出来る。

#### 2) 補助スロープアシスト付きボウリング

##### a) ルール

- i. 補助者は補助スロープをピンに向けて設置するが、必ず背中をピンの方に向け、選手の指示に従って設置する。(言葉と身振り手振りの両方)
- ii. 選手が上記の方法で指示できない場合は、モーターアクティビティトレーニングプログラム (MATP) への参加をお勧めする。

- b) 選手は、連続して3フレームまでボールを投げる事が出来る。

### 2. 一般ルール

- a. ディビジョンを決定するため、ハンディなしのエントリースコアは次の手順に基づき決定される：登録済みのABC、WIBCまたはYABAの試合記録アベレージを保持する選手は最も新しい試合記録の最高アベレージを使用するものとする。登録済みのリーグで15試合以上の経験があるが試合記録のない選手は、リーグアベレージを使うものとする。試合記録やリーグアベレージのない選手は練習または他の未登録リーグでの15ゲームのアベレージを使用するものとする。
- b. ダブルスやチーム戦においては、個人のハンディキャップの合計をチームのハンディキャップとする。一投目を投げられない選手、および3フレームを投げ終えられない選手にはハンディキャップは与えられず、その競技のスコアは0となる。少なくとも3フレームを投げ終えたがその後継続出来ない選手は、残りの各フレームにおいて、その選手のアベレージの1/10を獲得し、またハンディキャップもそのまま与えられる。
- c. リーグ戦では、200から選手のアベレージを差し引いた数を選手またはチームのハンディキャップ決定に用いることができる。(200 - 選手のアベレージ = 試合のハンディキャップ)
- d. トーナメント戦では、ハンディのない選手のトーナメントと、ハンディのある選手

のトーナメントの組み合わせを作るためにトーナメントディレクターを選ぶ。どちらの場合でも、ユニフォームの基準はF I Q規則に従う。

3. 一般ルール – ユニファイドスポーツ競技
  - a. ユニファイドスポーツのダブルスまたはチームはアスリートとパートナーの数が等しくなければならない。(アスリートとパートナー1人ずつまたは2人ずつ)
  - b. ユニファイドスポーツチームの最終スコアは各競技者の合計スコアを足したものとなる。(ハンディキャップを含む)
  - c. ユニファイドスポーツチームのボウラーはどんな順番で投げててもよい。
  
4. ターゲットボール – 初級レベルのアスリートに有効なゲーム
  - a. 設備:
    1. ボウリングピンの規定
    2. 2ポンドのボウリングボール
    3. テープ
    4. カーペット
  - b. セットアップ:
    - 1) テープを用いて規定の幅(1.06mまたは3ft6in)のボウリングレーンの印をつける。
    - 2) ファウルラインからボウリングピンまでの距離はボウリングレーンの1/2となる。(9.14mまたは30ft)。
    - 3) カーペット又は人工芝を敷き、ボールの滑走路とする。これはレーンとアプローチに敷かなければいけない。
  - c. ルールとスコア:
    - 1) 米国ボウリング協会(ABC)の規定に従う。しかし、レーンの長さは変更されるが、選手はファウルラインの後ろからボールを投げなければならない。ファウルラインを超えた場合は、失格となる。
    - 2) 投げたボールがレーンの幅を規定するテープを完全に越えた時、ガーターボールとみなされる。
    - 3) アスリートは通常のスコアシステムを使い、5フレーム投げる。
  
5. フレームボウル – 初級レベルのアスリートに有効なゲーム
  - a. 設備:
    - 1) 直径30cmのプラスチック製運動用ボール
    - 2) 大型のプラスチック製ボウリングピン10本
  - b. 準備:
    - 1) ピンを10本、通常通りの並べ方で三角形に並べる。
    - 2) 投げ位置から5メートル(16フィート5インチ)の位置にリードピンを置く。

3) テープかチョークで1メートル(3フィート31.5インチ)のファウルラインを書く。

c. ルール：

1) アスリートは1フレーム 2投ずつ、2フレーム投げ、出来るだけたくさんのピンを倒す。

2) 倒したピンは1投目と2投目の間に片付ける。その後、次のフレームのために全てのピンをリセットする。

3) アスリートはファウルラインの後ろからボールを投げるが、立って投げてもらってもよい。

4) アスリートは片手でも両手でもボールを投げてよい。

d. スコア：

1) アスリートのスコアは2フレームで倒したピンの数となる。

2) アスリートはフレームの1投目に全てのピンを倒した時、ストライクボーナスポイント5点を受け取る。2投目に残りの全てのピンを倒した時はスペアボーナスポイント2点を受け取る。

<スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを実施するに当たっての留意点>

スペシャルオリンピックスの正式なスポーツプログラムとして活動する場合には、事前に最寄りの地区組織事務局、又はスペシャルオリンピックス日本本部事務局にご連絡ください。